

1

# 人口・自然



# 1 人口・自然

## 人口 ▶▶▶ 1位 横浜市 1-01

**指標** 2024年4月1日現在の神奈川県人口は921万8071人です。

県内市町村では、横浜市が376万7635人で最も多く、次いで川崎市が154万8254人、相模原市が72万3435人の順となっています。

2023年10月1日現在の人口推計結果と比べると、横浜市は静岡県(355万5千人)、川崎市は鹿児島県(154万9千人)と同じくらいの人口です。

**この統計は** [神奈川県人口統計調査][人口推計]

### **用語** 人口

神奈川県人口統計調査や人口推計は、5年ごとに行われる国勢調査結果を基礎として、出生、死亡、転出入等の人口動向から各月・各年の人口を算出するものです。

日本国内に常住する外国人は、基本的に調査の対象ですが、外国政府の外交使節団・領事機関の構成員(随員を含む。)及びその家族や、外国軍隊の軍人・軍属及びその家族は除外しています。

## 人口密度(1km<sup>2</sup>あたり) ▶▶▶ 1位 川崎市 1-02

**指標** 2024年4月1日現在の神奈川県人口密度は3815人/km<sup>2</sup>です。

県内市町村で人口密度が最も高いのは川崎市で1万830人/km<sup>2</sup>、最も低いのは清川村で41人/km<sup>2</sup>です。

令和2年国勢調査での全国平均は338.2人/km<sup>2</sup>です。県内の多くの市町村は、全国平均と比べると人口密度が高くなっています。

**この統計は** [神奈川県人口統計調査][令和2年国勢調査]

### **用語** 人口密度

人口密度 = 市町村別人口 / 市町村別面積

## 人口増減率 ▶▶▶ 1位 大井町 1-03

**指標** 2023年の神奈川県人口増減率は0.03%の減少です。

県内市町村で人口増減率が最も高いのは大井町で0.64%の増加、最も低いのは真鶴町で2.63%の減少です。11市町村が増加し、22市町村が減少しました。

**この統計は** [神奈川県人口統計調査]

## 自然増減率 ▶▶▶ 1位 川崎市 1-04

**指標** 2023年の神奈川県自然増減率は0.48%の減少です。

県内市町村で自然増減率が最も高いのは川崎市で0.15%の減少、最も低いのは湯河原町で2.07%の減少です。すべての市町村で死亡者数が出生児数を上回る自然減少となりました。

**この統計は** [神奈川県人口統計調査]

## 社会増減率 ▶▶▶ 1位 箱根町 1-05

**指標** 2023年の神奈川県社会増減率は0.44%の増加です。

県内市町村で社会増減率が最も高いのは箱根町で1.73%の増加、最も低いのは清川村で0.91%の減少です。25市町村で転入者が転出者を上回る社会増加となり、7市町村で転出者が転入者を上回る社会減少となりました。また、1市町村で転入者と転出者が同値となり社会増減なしとなりました。

**この統計は** [神奈川県人口統計調査]

### **用語** 人口増減率、自然増減率、社会増減率

- ・人口増減率 = 人口増減数 / 期首人口
- ・自然増減率 = (出生児数 - 死亡者数) / 期首人口
- ・社会増減率 = (入国超過数 + 市町村間転入超過数) / 期首人口

※入国超過数 = 入国者数 - 出国者数

市町村間転入超過数 = 市町村間転入者数 - 市町村間転出者数

### **統計情報** 神奈川県人口統計調査

神奈川県人口統計調査結果報告 [県統計センター]  
公表日: 毎月末 公表周期: 毎月  
5年ごとの国勢調査結果を基礎として、これに毎月の住民基本台帳法及び戸籍法の定めによる出生、死亡、転入及び転出の月間届出数を加減し、毎月1日現在の県内市区町村別人口及び世帯数を推計したものです。年に1度、年間集計結果を取りまとめています。

### **統計情報** 人口推計

人口推計(2023年10月1日現在)  
[総務省統計局]  
刊行日: 令和6年4月12日 公表周期: 毎月  
5年ごとに実施される国勢調査の実施間の時点においての各月、各年の人口の状況を把握するために行うものです。

市町村・地域名	人口		人口密度 (1km <sup>2</sup> 当たり)		人口増減率		自然増減率		社会増減率	
	2024年 1-01	2024年 1-01	2024年 1-02	2024年 1-02	2023年 1-03	2023年 1-03	2023年 1-04	2023年 1-04	2023年 1-05	2023年 1-05
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
	人		人/km <sup>2</sup>		%		%		%	
神奈川県	9,218,071		3,815		-0.03		-0.48		0.44	
横浜市	3,767,635	1	8,602	3	-0.01	13	-0.44	6	0.43	14
川崎市	1,548,254	2	10,830	1	0.34	6	-0.15	1	0.49	13
相模原市	723,435	3	2,199	17	-0.17	15	-0.55	12	0.37	18
横須賀市	371,930	5	3,689	11	-1.19	26	-1.03	25	-0.16	29
平塚市	258,166	6	3,807	9	0.33	7	-0.71	16	1.04	3
鎌倉市	170,919	11	4,310	8	-0.49	20	-0.80	18	0.31	21
藤沢市	443,523	4	6,376	6	-0.00	12	-0.36	5	0.36	19
小田原市	185,986	10	1,637	21	-0.45	19	-0.85	20	0.40	16
茅ヶ崎市	245,437	7	6,875	5	0.56	3	-0.48	7	1.04	4
逗子市	55,771	17	3,227	13	-0.80	23	-0.94	22	0.15	24
三浦市	39,819	19	1,242	23	-1.76	31	-1.62	31	-0.14	27
秦野市	160,674	12	1,549	22	-0.24	16	-0.78	17	0.54	10
厚木市	223,706	9	2,384	16	0.05	11	-0.49	8	0.54	11
大和市	243,626	8	8,993	2	0.23	9	-0.30	4	0.53	12
伊勢原市	101,489	15	1,827	18	0.24	8	-0.60	14	0.84	5
海老名市	140,504	13	5,284	7	0.45	4	-0.22	2	0.68	7
座間市	131,863	14	7,505	4	-0.13	14	-0.53	10	0.40	17
南足柄市	39,517	20	512	28	-0.94	24	-1.05	26	0.11	25
綾瀬市	82,767	16	3,738	10	-0.33	18	-0.59	13	0.26	22
葉山町	30,898	23	1,813	19	-1.12	25	-0.97	23	-0.15	28
寒川町	48,552	18	3,640	12	0.15	10	-0.54	11	0.69	6
大磯町	30,952	22	1,802	20	-0.67	21	-1.00	24	0.33	20
二宮町	26,811	24	2,953	14	-0.68	22	-1.09	27	0.41	15
中井町	8,912	31	446	29	-1.50	28	-1.26	29	-0.24	30
大井町	17,306	27	1,203	24	0.64	1	-0.52	9	1.16	2
松田町	10,277	29	272	30	-1.43	27	-0.94	21	-0.50	31
山北町	9,154	30	41	32	-1.52	29	-1.52	30	0.00	26
開成町	18,797	26	2,870	15	0.44	5	-0.23	3	0.68	8
箱根町	10,866	28	117	31	0.57	2	-1.17	28	1.73	1
真鶴町	6,228	32	883	26	-2.63	33	-1.99	32	-0.63	32
湯河原町	22,182	25	541	27	-1.83	32	-2.07	33	0.24	23
愛川町	39,229	21	1,144	25	-0.26	17	-0.85	19	0.59	9
清川村	2,886	33	41	33	-1.62	30	-0.71	15	-0.91	33

横浜地域	3,767,635	1			-0.01	3	-0.44	2	0.43	4
川崎地域	1,548,254	3			0.34	1	-0.15	1	0.49	2
横須賀三浦地域	669,337	5			-1.01	6	-1.00	6	-0.01	6
県央地域	1,588,016	2			-0.04	4	-0.48	3	0.45	3
湘南地域	1,315,604	4			0.13	2	-0.56	4	0.69	1
県西地域	329,225	6			-0.59	5	-0.97	5	0.38	5

1-01~1-05 神奈川県人口統計調査

統計情報 国勢調査

令和2年国勢調査【総務省統計局】  
 公表日:令和3年11月30日~順次公表 公表周期:5年ごと  
 日本の人口・世帯の実態を明らかにすることを目的として行う  
 国の最も重要な統計調査で、日本国内に住んでいるすべての人  
 及び世帯を対象にしています。

注釈

1-01

1)2024年4月1日現在の値。

1-02

1)神奈川県人口統計調査の2024年4月1日現在の人口と、2023年  
 12月21日公表の国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別  
 面積調(令和5年10月1日現在)」の数値に基づき算定したもの。

1-03~1-05

1)2023年中の値。

2)端数を含めた値の大小比較により順位を設定している。

3)社会増減の転入・転出には、県内市町村間の移動を含む。

## 1-06 婚姻率(人口1000人当たり) ▶▶ 1位 川崎市

**指標** 2021年の神奈川県の人人口1000人当たりの婚姻率は4.19です。

県内市町村で婚姻率が最も高いのは川崎市で5.63、最も低いのは山北町で1.04です。

**この統計は** [令和3年神奈川県衛生統計年報]

**用語** 婚姻率

年間の婚姻届出件数を10月1日現在の日本人人口で割ったものです。

婚姻率 = 年間婚姻届出件数 / 日本人人口 × 1000

ここでいう婚姻届出件数は、各年1月1日から同年12月31日までの間に、市区町村長に届出のあった件数をいいます。

## 1-07 合計特殊出生率 ▶▶ 1位 開成町

**指標** 2021年の神奈川県の合計特殊出生率は1.19です。

県内市町村で合計特殊出生率が最も高いのは開成町で1.64、最も低いのは箱根町で0.45です。

**この統計は** [令和3年神奈川県衛生統計年報]

**用語** 合計特殊出生率

合計特殊出生率は「15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に産むとしたときの子どもの数に相当します。

$$\text{合計特殊出生率} = \left\{ \frac{\text{年間の母の年齢別出生数}}{\text{10月1日現在年齢別女性人口}} \right\} \times \text{※15歳から49歳の合計}$$

## 1-08 人口性比 ▶▶ 1位 愛川町

**指標** 2024年の神奈川県の人口性比は98.21です。人数で比較すると女性の方が8万3095人多くなっています。

県内市町村で男性の割合が最も高いのは愛川町で110.12、女性の割合が最も高いのは湯河原町で86.37です。

県内33市町村のうち、男性の方が多いのは9市町村、女性の方が多いのは24市町村です。

**この統計は** [神奈川県人口統計調査]

**用語** 人口性比

人口性比とは女性100人に対する男性の数をいいます。

$$\text{人口性比} = \frac{\text{男性人口}}{\text{女性人口}} \times 100$$

## 1-09 昼夜間人口比率 ▶▶ 1位 箱根町

**指標** 2020年10月1日現在の神奈川県の昼夜間人口比率は91.68です。

県内市町村で昼夜間人口比率が最も高いのは箱根町で153.25です。全国の市区町村別順位をみると、箱根町は13番目に昼夜間人口比率が高くなっています。また、中井町(129.17)は全国で22番目に昼夜間比率が高くなっています。

県内市町村で昼夜間人口比率が最も低いのは二宮町で75.44です。全国の市区町村別順位をみると、二宮町は12番目に昼夜間人口比率が低くなっています。また、真鶴町(76.26)は全国で18番目に昼夜間人口比率が低くなっています。

昼夜間人口比率が100を超える場合、常住地以外の市町村へ通勤・通学している人数(流出人口)より、他の市町村から通勤・通学してくる人数(流入人口)が多いことを示しています。一方、昼夜間人口比率が100未満の場合は、常住地以外へ通勤・通学している人数の方が多くを示します。県内では4市町村が流入超過、29市町村が流出超過となっています。

**この統計は** [令和2年国勢調査]

**用語** 昼夜間人口比率

夜間人口100人当たりの昼間人口の比率をいいます。

$$\text{昼夜間人口比率} = \text{昼間人口} / \text{夜間人口} \times 100$$

### 統計情報 神奈川県衛生統計年報

令和3年神奈川県衛生統計年報 [県健康医療局健康増進課]  
公表周期: 毎年

人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的として行うもので、「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としています。

### 統計情報 神奈川県人口統計調査

神奈川県人口統計調査結果報告 [県統計センター]

公表日: 毎月末 公表周期: 毎月

5年ごとの国勢調査結果を基礎として、これに毎月の住民基本台帳法及び戸籍法の定めによる出生、死亡、転入及び転出の月間届出数を加減し、毎月1日現在の県内市区町村別人口及び世帯数を推計したものです。年に1度、年間集計結果を取りまとめています。

市町村・地域名	婚姻率 (人口1000人当たり)		合計特殊出生率		人口性比		昼夜間人口比率	
	2021年	1-06	2021年	1-07	2024年	1-08	2020年	1-09
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
神奈川県	4.19		1.19		98.21		91.68	
横浜市	4.17	5	1.18	16	97.20	19	92.55	16
川崎市	5.63	1	1.18	17	101.29	8	87.27	24
相模原市	3.84	7	1.19	15	99.12	12	88.94	18
横須賀市	3.16	19	1.12	20	98.63	14	92.17	17
平塚市	3.30	16	1.12	19	99.57	11	98.73	6
鎌倉市	3.22	17	1.20	13	88.39	29	97.21	8
藤沢市	4.19	4	1.35	5	97.28	18	92.93	15
小田原市	3.55	11	1.19	14	93.32	25	97.39	7
茅ヶ崎市	3.46	12	1.28	9	93.90	24	81.32	29
逗子市	3.37	14	1.46	3	87.45	31	81.61	28
三浦市	2.03	31	1.00	28	91.53	28	87.62	22
秦野市	2.99	21	1.07	24	101.96	7	87.72	21
厚木市	3.63	10	1.16	18	106.25	2	115.80	3
大和市	4.97	2	1.30	7	99.08	13	87.48	23
伊勢原市	3.86	6	1.11	22	102.71	5	95.54	11
海老名市	4.68	3	1.32	6	100.79	9	93.83	14
座間市	3.77	8	1.20	12	98.52	15	87.82	20
南足柄市	2.82	23	1.00	27	95.36	21	86.90	25
綾瀬市	3.18	18	1.36	4	102.00	6	95.97	10
葉山町	2.31	30	1.23	11	88.12	30	77.77	31
寒川町	3.65	9	1.26	10	102.77	4	94.73	12
大磯町	2.38	29	1.10	23	94.80	22	79.52	30
二宮町	2.89	22	1.03	26	91.71	27	75.44	33
中井町	1.65	32	0.94	30	99.69	10	129.17	2
大井町	3.38	13	1.55	2	95.46	20	85.74	27
松田町	2.64	26	1.06	25	98.05	17	96.60	9
山北町	1.04	33	0.89	31	98.48	16	99.28	5
開成町	2.65	25	1.64	1	94.06	23	85.78	26
箱根町	2.60	27	0.45	33	92.66	26	153.25	1
真鶴町	2.42	28	0.84	32	86.52	32	76.26	32
湯河原町	2.73	24	1.11	21	86.37	33	88.09	19
愛川町	3.06	20	0.96	29	110.12	1	102.68	4
清川村	3.31	15	1.30	8	105.70	3	94.67	13

横浜地域	4.17	2			97.20	4	92.55	3
川崎地域	5.63	1			101.29	1	87.27	6
横須賀三浦地域	3.08	6			94.04	5	91.62	4
県央地域	3.99	3			100.61	2	93.57	2
湘南地域	3.62	4			98.07	3	90.85	5
県西地域	3.14	5			93.53	6	96.61	1

1-06~1-07 令和3年神奈川県衛生統計年報、1-08 神奈川県人口統計調査、1-09 令和2年国勢調査

統計情報 国勢調査

令和2年国勢調査 [総務省統計局]  
公表日:令和3年11月30日~順次公表  
公表周期:5年ごと  
日本の人口・世帯の実態を明らかにすることを目的として行う国の最も重要な統計調査で、日本国内に住んでいるすべての人及び世帯を対象にしています。

注釈

- 1-06  
1)率の算出には、神奈川県人口統計調査の2021年10月1日現在の人口を用いた。
- 1-07  
1)率の算出には、神奈川県年齢別人口統計調査の2021年1月1日現在の年齢(各歳・5歳階級)別、男女別人口を用いた。
- 1-08  
1)2024年4月1日現在の値。

- 1-09  
1)2020年10月1日現在の値。  
2)夜間人口=調査時に当該地域に常住している人口。  
3)昼間人口=当該地域の夜間人口から、他の地域へ通勤・通学している者を減じ、他の地域から通勤・通学に来ている者を加えた人口。

1-10

自市町村内での従業・通学者割合  
▶▶ 1位 箱根町

**指標** 2020年10月1日現在、常住する市町村内で従業（通勤又は自宅から従業）・通学者の割合が最も高いのは箱根町で57.60%、最も低いのは二宮町で19.98%です。

箱根町を含む12市町村では、他市町村に通勤・通学者より常住する市町村内で従業（通勤又は自宅から従業）・通学者の割合が高くなっています。

**この統計は** [令和2年国勢調査]

1-11 / 1-12 / 1-13

他市町村への通勤・通学者割合  
▶▶ 1位 松田町

**指標** 2020年10月1日現在、常住地以外の市町村へ通勤・通学者の割合が最も高いのは松田町で41.53%、最も低いのは箱根町で11.44%です。松田町を含む21市町村では、常住する市町村内で通勤・通学者より、他市町村に通勤・通学者の割合が高くなっています。

県内の他市町村へ通勤・通学者の割合が最も高いのは大井町で36.33%です。一方、県外へ通勤・通学者の割合が最も高いのは川崎市で27.16%です。

他市町村へ通勤・通学者の内訳をみると、3政令指定都市は県内の他市町村へ通勤・通学者よりも県外へ通勤・通学者の割合が高くなっています。政令指定都市を除く30市町村では、県外へ通勤・通学者よりも県内の他市町村へ通勤・通学者の割合が高くなっています。

県全体としては、県外への通勤・通学者が全国1位となっており、人口の1割を超えています。

**この統計は** [令和2年国勢調査]

**用語** 通勤者・通学者

「通勤者」とは、従業の場所が常住の場所（自宅）と異なる就業者をいいます。「通学者」とは、調査週間中、学校に通っていた者をいいます。この場合の学校には、幼稚園や認定こども園は含まれません。

なお、割合の算出方法については、7ページの注釈を参照してください。

## 統計情報 国勢調査

令和2年国勢調査 [総務省統計局]  
公表日: 令和3年11月30日～順次公表  
公表周期: 5年ごと

日本の人口・世帯の実態を明らかにすることを目的として行う国の最も重要な統計調査で、日本国内に住んでいるすべての人及び世帯を対象にしています。

1-14 / 1-15 / 1-16

他市町村からの通勤・通学者数  
▶▶ 1位 横浜市

**指標** 2020年10月1日現在、他市町村からの通勤・通学者数（流入人口）が最も多いのは横浜市で41万1548人、最も少ないのは真鶴町で565人です。

各市町村への他市町村からの通勤・通学者数の内訳をみると、県内他市町村からの通勤・通学者の割合が最も高いのは二宮町で98.46%です。一方、県外からの通勤・通学者の割合が最も高いのは相模原市で、44.47%です。

県内の全ての市町村で、県外からの通勤・通学者よりも、県内からの通勤・通学者の割合が高くなっています。

**この統計は** [令和2年国勢調査]

## 「従業も通学もしていない」者の割合

2020年10月1日現在、神奈川県内の常住人口のうち、従業地・通学地「不詳」を除いた人口に占める従業地・通学地別の人口の割合をみると、「従業も通学もしていない」が35.83%です。

県内33市町村のうち、21市町村で「従業も通学もしていない」割合が一番高くなっています。「自市町村で通勤・通学」の割合が一番高い市町村は、横浜市、相模原市、小田原市、厚木市、箱根町の5市町村、「他市町村への通勤・通学」の割合が一番高い市町村は、川崎市、大和市、海老名市、座間市、大井町、松田町、開成町の7市町村です。

## 令和2年国勢調査 従業地・通学地の表章区分

常住地による人口(夜間人口) (a)	当該地域に常住している人口 (a)=(b)+(c)+(f)+(k)
従業も通学もしていない (b)	労働力状態が「完全失業者」「家事」「その他」の者
自市区町村で従業・通学 (c)	従業地が「自宅」または従業地・通学地が「同じ区・市町村」の者 (c)=(d)+(e)
自宅から従業 (d)	従業地が「自宅」の者
自宅外の自市区町村で従業・通学 (e)	従業地・通学地が「同じ区・市町村」の者
他市区町村で従業・通学 (f)	従業地・通学地が「他の区・市町村」の者 (f)=(g)+(h)+(i)+(j)
自市内他区で従業・通学 (g)	21大都市の常住者のうち、通勤・通学の場所が常住地と同じ市内の他区の者
県内他市町村で従業・通学 (h)	通勤・通学の場所が常住地と同じ都道府県内の他市町村の者
他県で従業・通学 (i)	通勤・通学の場所が常住地と別の都道府県の者
従業・通学市区町村「不詳・外国」 (j)	従業地・通学地が「他の区・市町村」で、通勤・通学の場所(市区町村)が不詳及び外国の者
従業地・通学地「不詳」 (k)	従業地・通学地が不詳の者(労働力状態が「不詳」の者を含む)

\*21大都市とは、政令指定都市及び東京都特別区部をいいます。

市町村・地域名	自市町村内での 従業・通学者割合		他市町村への 通勤・通学者割合		うち 県内他市町村		うち 神奈川県外		他市町村からの 通勤・通学者数		うち 県内他市町村		うち 神奈川県外	
	2020年 1-10		2020年 1-11		2020年 1-12		2020年 1-13		2020年 1-14		2020年 1-15		2020年 1-16	
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
神奈川県	36.67		27.50		13.13		14.37		1,309,636		75.75		24.25	
横浜市	41.85	2	22.57	31	7.17	33	15.39	2	411,548	1	67.94	30	32.06	4
川崎市	32.79	11	35.39	11	8.24	32	27.16	1	232,534	2	57.40	32	42.60	2
相模原市	36.67	7	27.43	24	12.17	30	15.26	3	79,539	4	55.53	33	44.47	1
横須賀市	39.34	5	20.02	32	15.19	28	4.83	23	36,852	9	91.84	19	8.16	15
平塚市	37.34	6	24.53	27	19.33	25	5.20	19	47,811	6	89.71	24	10.29	10
鎌倉市	27.86	19	32.95	18	20.12	24	12.83	4	43,952	7	94.91	14	5.09	20
藤沢市	33.55	9	30.57	22	21.24	23	9.33	9	81,515	3	90.55	21	9.45	13
小田原市	39.89	4	23.40	29	18.51	26	4.89	22	32,381	11	91.49	20	8.51	14
茅ヶ崎市	28.40	16	33.95	15	24.93	20	9.01	11	22,579	14	93.99	15	6.01	19
逗子市	21.65	28	38.27	5	25.69	17	12.57	5	8,521	19	97.81	2	2.19	32
三浦市	31.72	13	26.06	26	22.94	21	3.11	29	4,488	24	96.59	8	3.41	26
秦野市	33.51	10	27.17	25	22.42	22	4.75	24	18,212	16	90.52	22	9.48	12
厚木市	41.27	3	22.63	30	17.31	27	5.32	18	78,077	5	87.37	27	12.63	7
大和市	26.23	22	37.06	9	25.20	18	11.86	6	37,251	8	88.82	26	11.18	8
伊勢原市	31.08	14	33.34	17	27.98	14	5.36	16	23,907	12	93.02	16	6.98	18
海老名市	25.86	23	37.15	8	29.16	10	7.99	12	34,671	10	91.91	18	8.09	16
座間市	23.87	26	38.91	4	28.44	13	10.47	7	23,481	13	90.26	23	9.74	11
南足柄市	27.47	20	32.61	19	29.39	9	3.22	28	7,536	20	95.83	11	4.17	23
綾瀬市	28.21	17	33.96	14	28.80	11	5.16	21	19,734	15	95.62	13	4.38	21
葉山町	24.87	24	36.29	10	25.94	16	10.35	8	3,098	28	96.42	9	3.58	25
寒川町	29.55	15	33.97	13	30.43	7	3.54	27	11,888	17	97.32	5	2.68	29
大磯町	21.22	30	37.89	6	30.83	6	7.07	13	4,366	25	97.43	4	2.57	30
二宮町	19.98	33	37.83	7	31.47	4	6.36	15	2,853	30	98.46	1	1.54	33
中井町	27.26	21	34.12	12	31.05	5	3.07	30	5,680	22	96.88	6	3.12	28
大井町	24.03	25	40.29	3	36.33	1	3.95	25	3,837	26	97.47	3	2.53	31
松田町	20.47	32	41.53	1	36.17	2	5.35	17	3,596	27	96.11	10	3.89	24
山北町	28.05	18	32.42	20	28.61	12	3.81	26	2,971	29	89.13	25	10.87	9
開成町	23.03	27	40.98	2	35.83	3	5.16	20	4,640	23	95.69	12	4.31	22
箱根町	57.60	1	11.44	33	9.04	31	2.40	32	7,082	21	75.23	29	24.77	5
真鶴町	20.68	31	33.75	16	27.00	15	6.75	14	565	33	83.36	28	16.64	6
湯河原町	31.93	12	24.30	28	15.11	29	9.19	10	2,445	31	62.49	31	37.51	3
愛川町	35.76	8	28.15	23	25.14	19	3.00	31	11,241	18	92.56	17	7.44	17
清川村	21.52	29	31.89	21	29.67	8	2.22	33	785	32	96.69	7	3.31	27

横浜地域	41.85	1	22.57	6	7.17	6	15.39	2	411,548	1	67.94	5	32.06	2
川崎地域	32.79	5	35.39	1	8.24	5	27.16	1	232,534	3	57.40	6	42.60	1
横須賀三浦地域	33.89	3	25.86	5	18.26	4	7.60	4	96,911	5	94.12	1	5.88	6
県央地域	33.35	4	30.27	3	18.91	3	11.36	3	284,779	2	80.26	4	19.74	3
湘南地域	32.35	6	30.31	2	23.06	1	7.24	5	213,131	4	91.63	2	8.37	5
県西地域	34.65	2	27.62	4	22.79	2	4.83	6	70,733	6	90.43	3	9.57	4

1-10~1-16 令和2年国勢調査

注釈

1-10~1-16

1)2020年10月1日現在の値。

1-10~1-13

1)従業地・通学地「不詳」を除いた人口に占める割合。

1-10

1)6ページ「従業地・通学地の表章区分」のうち、(d)、(e)、(g)の割合を合計したもの。

1-11

1)6ページ「従業地・通学地の表章区分」のうち、(f)の割合から(g)の割合を除いたもの。

1-12

1)6ページ「従業地・通学地の表章区分」のうち、(h)の割合。

1-13

1)6ページ「従業地・通学地の表章区分」のうち、(i)の割合。

1-14

1)他市町村から当該市町村へ通勤・通学している人口(流入人口)。

2)神奈川県の値は、各市町村の計。

1-15

1)1-14のうち、県内他市町村からの通勤・通学者の割合。ただし、神奈川県及び地域別の数値は各市町村の計から算出している。

1-16

1)1-14のうち、県外からの通勤・通学者の割合。ただし、神奈川県及び地域別の数値は各市町村の計から算出している。

# 1 人口・自然

## 外国人数 ▶▶ 1位 横浜市

1-17

**指標** 2024年1月1日現在の神奈川県外国人数は26万163人です。県民の35人に1人が外国籍県民となっています。

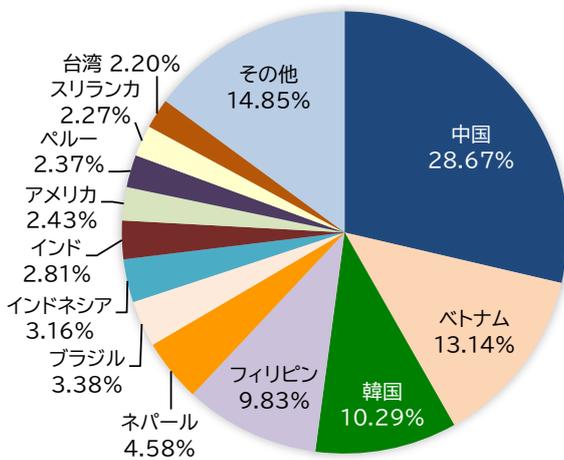
県内市町村で外国人数が最も多いのは横浜市で11万5954人、最も少ないのは清川村で64人です。

**この統計は** [県内外国人統計]

**用語** 外国人

県内外国人統計においては、県内市区町村の住民基本台帳に登録されている外国人数を集計しています。

### 県内外国人の国・地域別構成比 (2024年1月1日現在)



**この統計は** [県内外国人統計]

## 生産年齢人口割合 ▶▶ 1位 川崎市

1-18

**指標** 2024年1月1日現在の神奈川県生産年齢人口割合は62.70%です。

県内市町村で生産年齢人口割合が最も高いのは川崎市で67.60%、最も低いのは真鶴町で47.70%です。

**この統計は** [神奈川県年齢別人口統計調査]

**用語** 生産年齢人口

国内の生産活動を中心になって支える15～64歳の人口のこと。

### 統計情報 県内外国人統計

県内外国人統計(2024(令和6)年1月1日現在)  
[県文化スポーツ観光局国際課]  
公表日:令和6年3月28日 公表周期:毎年  
2024(令和6)年1月1日現在の住民基本台帳上の外国人  
数について、県内市町村に対して調査した結果を集計した  
ものです。

## 年少人口割合 ▶▶ 1位 開成町

1-19

**指標** 2024年1月1日現在の神奈川県の年少人口割合は11.39%です。

県内市町村で年少人口割合が最も高いのは開成町で14.24%、最も低いのは箱根町で5.40%です。

**この統計は** [神奈川県年齢別人口統計調査]

**用語** 年少人口

14歳以下の人口のこと。

## 老年人口割合 ▶▶ 1位 真鶴町

1-20

**指標** 2024年1月1日現在の神奈川県の老年人口割合は25.91%です。

県内市町村で老年人口割合が最も高いのは真鶴町で46.00%、最も低いのは川崎市で20.44%です。

**この統計は** [神奈川県年齢別人口統計調査]

**用語** 老年人口

65歳以上の人口のこと。

## 100歳以上人口数(人口10万人当たり) ▶▶ 1位 湯河原町

1-21

**指標** 2020年10月1日現在の神奈川県の人口10万人当たりの100歳以上の人口は49.95人です。

県内市町村で人口10万人当たりの100歳以上の人口が最も多いのは湯河原町で138.86人、次いで中井町で133.82人です。

**この統計は** [令和2年国勢調査]

### 統計情報 神奈川県年齢別人口統計調査

神奈川県年齢別人口統計調査(令和6年1月1日現在) [県統計センター]  
公表日:令和6年7月31日 公表周期:毎年  
5年ごとの国勢調査の調査票情報を独自集計した年齢別人口を基礎とし、  
市町村長の報告に基づく住民基本台帳法及び戸籍法に定める出生、  
死亡、転入、転出の年齢別異動人口を加減して毎年1月1日現在の年齢別  
人口を算出し、県でとりまとめたものです。

市町村・地域名	外国人数		生産年齢人口割合		年少人口割合		老年人口割合		100歳以上人口数 (人口10万人当たり)	
	2024年		2024年		2024年		2024年		2020年	
	1-17	1-17	1-18	1-18	1-19	1-19	1-20	1-20	1-21	1-21
値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	
	人		%		%		%		人	
神奈川県	260,163		62.70		11.39		25.91		49.95	
横浜市	115,954	1	63.23	3	11.40	10	25.37	29	48.20	21
川崎市	50,794	2	67.60	1	11.96	9	20.44	33	42.91	24
相模原市	18,708	3	62.14	8	11.00	13	26.86	25	44.00	22
横須賀市	6,830	7	57.38	20	9.77	25	32.84	12	62.98	10
平塚市	5,880	8	59.93	11	10.83	17	29.24	20	62.49	11
鎌倉市	1,807	17	58.32	18	10.80	18	30.87	18	104.32	6
藤沢市	8,034	6	62.41	5	12.74	2	24.85	31	57.64	14
小田原市	3,214	15	58.28	19	10.55	20	31.17	17	55.03	17
茅ヶ崎市	2,362	16	60.41	10	12.40	5	27.19	23	50.24	20
逗子市	603	21	56.75	21	11.11	12	32.13	14	68.42	9
三浦市	448	23	50.37	30	7.68	30	41.95	4	112.86	4
秦野市	4,428	10	58.43	17	10.20	21	31.37	16	43.96	23
厚木市	9,369	4	62.44	4	10.98	15	26.58	28	37.00	27
大和市	8,045	5	63.57	2	12.17	8	24.26	32	37.13	26
伊勢原市	3,229	14	62.03	9	10.94	16	27.04	24	57.33	15
海老名市	3,372	13	62.27	7	12.65	3	25.08	30	30.27	30
座間市	3,717	11	62.34	6	10.99	14	26.67	26	38.80	25
南足柄市	619	20	55.82	23	9.93	22	34.25	11	62.05	13
綾瀬市	4,688	9	59.79	12	12.34	6	27.86	21	34.06	29
葉山町	292	25	55.40	24	12.25	7	32.35	13	115.66	3
寒川町	1,200	18	59.69	13	12.48	4	27.84	22	53.11	18
大磯町	217	27	54.33	26	10.79	19	34.87	10	57.17	16
二宮町	271	26	54.04	27	9.79	24	36.17	8	62.32	12
中井町	401	24	53.45	28	8.21	27	38.34	7	133.82	2
大井町	179	29	59.20	14	11.40	11	29.40	19	71.02	8
松田町	157	30	55.20	25	9.40	26	35.40	9	28.14	31
山北町	130	31	49.77	31	8.05	29	42.18	3	51.61	19
開成町	181	28	59.10	15	14.24	1	26.67	27	93.66	7
箱根町	964	19	56.16	22	5.40	33	38.44	6	111.44	5
真鶴町	78	32	47.70	33	6.31	32	46.00	1	-	-
湯河原町	536	22	49.13	32	6.63	31	44.24	2	138.86	1
愛川町	3,392	12	58.53	16	9.84	23	31.63	15	35.49	28
清川村	64	33	52.23	29	8.10	28	39.67	5	-	-

横浜地域	115,954	1	63.23	2	11.40	3	25.37	5	48.20	4
川崎地域	50,794	3	67.60	1	11.96	1	20.44	6	42.91	5
横須賀三浦地域	9,980	5	57.06	5	10.13	5	32.81	2	79.22	1
県央地域	51,355	2	62.20	3	11.36	4	26.45	4	39.52	6
湘南地域	25,621	4	60.57	4	11.74	2	27.70	3	55.42	3
県西地域	6,459	6	56.72	6	10.05	6	33.23	1	66.63	2

1-17 県内外国人統計、1-18~1-20 神奈川県年齢別人口統計調査、1-21 令和2年国勢調査

統計情報 国勢調査

令和2年国勢調査 [総務省統計局]  
公表日:令和3年11月30日~順次公表  
公表周期:5年ごと

日本の人口・世帯の実態を明らかにすることを目的として行われる最も重要な統計調査で、日本国内に住んでいるすべての人及び世帯を対象としています。

注釈

1-17

1)2024年1月1日現在の住民基本台帳上の外国人数。

1-18~1-20

1)2024年1月1日現在の値。

2)割合は分母(人口総数)から年齢不詳を除いて算出している。

1-21

1)2020年10月1日現在の値。

2)令和2年国勢調査をもとに、県統計センター算出。

## 一般世帯数 ▶▶▶ 1位 横浜市 1-22

**指標** 2020年10月1日現在の神奈川県的一般世帯数は421万122世帯です。

県内市町村で一般世帯数が最も多いのは横浜市で174万4208世帯、最も少ないのは清川村で1124世帯です。

**この統計は** [令和2年国勢調査]

**用語** 世帯、一般世帯

本ページは国勢調査の区分によります。詳細は右ページ注釈を参照してください。国勢調査では世帯を「一般世帯」と「施設等の世帯」に区分しています。このページで掲載する内容は、一般世帯の内訳項目です。

## 1世帯当たり人員(対一般世帯) ▶▶▶ 1位 中井町 1-23

**指標** 2020年10月1日現在の神奈川県の1世帯当たり人員は2.15人です。

県内市町村で1世帯当たり人員が最も多いのは中井町で2.58人、最も少ないのは箱根町で1.69人です。

**この統計は** [令和2年国勢調査]

**用語** 1世帯当たり人員

1世帯当たり人員(一般世帯の平均人数)  
= 一般世帯人員 / 一般世帯数

## 単独世帯割合(対一般世帯) ▶▶▶ 1位 箱根町 1-24

**指標** 2020年10月1日現在の神奈川県の単独世帯割合は39.21%です。

県内市町村で単独世帯割合が最も高いのは箱根町で60.38%、最も低いのは中井町で22.69%です。

**この統計は** [令和2年国勢調査]

**用語** 単独世帯

単独世帯とは、世帯人員が1人の世帯のことです。  
単独世帯割合 = 単独世帯数 / 一般世帯数 \* 100  
\*この一般世帯数には、世帯の家族類型「不詳」を含みます。

### 統計情報 国勢調査

令和2年国勢調査 [総務省統計局]  
公表日: 令和3年11月30日~順次公表  
公表周期: 5年ごと

日本の人口・世帯の実態を明らかにすることを目的として行う国の最も重要な統計調査で、日本国内に住んでいるすべての人及び世帯を対象にしています。

## 核家族世帯割合(対一般世帯) ▶▶▶ 1位 葉山町 1-25

**指標** 2020年10月1日現在の神奈川県の単独世帯割合は55.83%です。

県内市町村で核家族世帯割合が最も高いのは葉山町で68.47%、最も低いのは箱根町で32.69%です。

**この統計は** [令和2年国勢調査]

**用語** 核家族世帯、核家族世帯割合

核家族世帯とは一般世帯のうち次のものを示します。

- (1) 夫婦のみの世帯
- (2) 夫婦と子供から成る世帯
- (3) 男親と子供から成る世帯
- (4) 女親と子供から成る世帯

核家族世帯割合 = 核家族世帯数 / 一般世帯数 \* 100  
\*この一般世帯数には、世帯の家族類型「不詳」を含みます。

## 65歳以上の単独世帯割合(対一般世帯) ▶▶▶ 1位 湯河原町 1-26

**指標** 2020年10月1日現在の神奈川県の65歳以上の単独世帯割合は10.92%で、10世帯に1世帯は65歳以上の単独世帯となっています。

県内市町村で65歳以上の単独世帯割合が最も高いのは湯河原町で21.37%、最も低いのは開成町で8.74%です。

**この統計は** [令和2年国勢調査]

**用語** 65歳以上の単独世帯

65歳以上の一人のみの一般世帯をいいます。  
65歳以上の単独世帯割合  
= 65歳以上の単独世帯数 / 一般世帯数 \* 100  
\*この一般世帯数には、世帯の家族類型「不詳」を含みます。

## 夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯割合(対一般世帯) ▶▶▶ 1位 清川村 1-27

**指標** 2020年10月1日現在の神奈川県の夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯割合は10.94%で、10世帯に1世帯は夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯となっています。

県内市町村で夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯割合が最も高いのは清川村で18.95%、最も低いのは川崎市で7.49%です。

**この統計は** [令和2年国勢調査]

**用語** 夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯

夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯をいいます。  
夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯割合  
= 夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯数 / 一般世帯数 \* 100  
\*この一般世帯数には、世帯の家族類型「不詳」を含みます。

市町村・地域名	一般世帯数		1世帯当たり人員 (対一般世帯)		単独世帯割合 (対一般世帯)		核家族世帯割合 (対一般世帯)		65歳以上の 単独世帯割合 (対一般世帯)		夫65歳以上、 妻60歳以上の 夫婦のみの世帯 割合(対一般世帯)	
	2020年	1-22	2020年	1-23	2020年	1-24	2020年	1-25	2020年	1-26	2020年	1-27
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
神奈川県	4,210,122		2.15		39.21		55.83		10.92		10.94	
横浜市	1,744,208	1	2.13	30	40.09	4	55.70	27	11.16	19	10.68	30
川崎市	745,988	2	2.03	32	45.67	2	50.06	32	8.86	32	7.49	33
相模原市	332,249	3	2.14	28	39.93	5	54.78	29	10.06	26	11.24	29
横須賀市	165,101	5	2.25	21	32.70	14	61.01	15	15.15	6	15.03	12
平塚市	112,002	6	2.26	19	35.26	11	57.93	22	11.51	17	12.31	24
鎌倉市	75,607	11	2.24	22	32.08	17	62.62	12	13.80	11	15.00	13
藤沢市	192,960	4	2.23	24	36.24	10	59.08	17	10.80	23	11.33	27
小田原市	81,622	10	2.26	18	34.74	13	57.00	23	12.91	14	12.66	22
茅ヶ崎市	102,364	8	2.33	14	30.32	21	64.47	6	11.48	18	13.51	19
逗子市	24,837	17	2.27	17	30.24	22	63.99	7	14.87	8	15.63	11
三浦市	17,153	19	2.33	13	29.59	24	59.75	16	17.12	3	17.53	7
秦野市	70,325	12	2.25	20	35.07	12	58.17	21	10.85	21	14.30	15
厚木市	100,132	9	2.19	26	38.73	6	55.63	28	9.66	29	11.79	26
大和市	110,397	7	2.13	29	40.72	3	54.08	30	10.58	24	9.82	32
伊勢原市	45,286	15	2.20	25	38.03	8	55.98	26	9.98	27	11.84	25
海老名市	58,225	14	2.30	16	32.43	16	62.53	13	9.47	31	12.63	23
座間市	60,153	13	2.17	27	37.72	9	56.91	24	11.03	20	11.24	28
南足柄市	16,241	21	2.46	5	25.92	28	63.85	8	12.38	15	16.75	9
綾瀬市	34,760	16	2.37	10	30.78	19	62.93	9	10.84	22	13.58	18
葉山町	12,913	22	2.41	8	25.25	29	68.47	1	13.34	12	16.95	8
寒川町	19,827	18	2.40	9	29.75	23	62.76	11	10.37	25	13.15	20
大磯町	12,675	23	2.44	6	24.02	32	67.48	2	13.25	13	18.32	2
二宮町	11,530	24	2.34	12	27.46	25	65.37	5	14.61	9	18.10	4
中井町	3,425	31	2.58	1	22.69	33	61.93	14	9.69	28	18.04	5
大井町	6,653	27	2.53	3	25.99	27	62.83	10	9.56	30	13.84	16
松田町	4,567	29	2.35	11	32.03	18	56.78	25	14.23	10	13.60	17
山北町	3,843	30	2.48	4	26.05	26	58.96	18	15.61	5	18.24	3
開成町	6,924	26	2.57	2	24.19	31	67.19	3	8.74	33	12.80	21
箱根町	6,348	28	1.69	33	60.38	1	32.69	33	16.27	4	10.62	31
真鶴町	2,959	32	2.23	23	30.69	20	58.87	19	20.04	2	17.71	6
湯河原町	10,662	25	2.09	31	38.48	7	52.95	31	21.37	1	16.53	10
愛川町	17,062	20	2.31	15	32.43	15	58.32	20	11.59	16	14.34	14
清川村	1,124	33	2.44	7	24.56	30	65.93	4	15.12	7	18.95	1

横浜地域	1,744,208	1	2.13	5	40.09	2	55.70	5	11.16	3	10.68	5
川崎地域	745,988	2	2.03	6	45.67	1	50.06	6	8.86	6	7.49	6
横須賀三浦地域	295,611	5	2.26	3	31.83	6	61.92	1	14.82	1	15.30	1
県央地域	714,102	3	2.18	4	38.44	3	56.10	4	10.20	5	11.41	4
湘南地域	566,969	4	2.27	2	34.30	4	59.91	2	11.12	4	12.68	3
県西地域	143,244	6	2.29	1	33.55	5	57.36	3	13.46	2	13.80	2

1-22~1-27 令和2年国勢調査

注釈

1-22~1-27

1)2020年10月1日現在の値。

1-23~1-27

1)令和2年国勢調査をもとに、県統計センター算出。

国勢調査における世帯の種類は次のとおり「一般世帯」と「施設等の世帯」に区分される。

一般世帯

ア) 住居と生計を共にしている人の集まり又は一戸を構えて住んでいる単身者。

ただし、これらの世帯と住居を共にする単身の住み込みの雇人については、人数に関係なく雇主の世帯に含めている。

イ) 上記の世帯と住居を共にし、別に生計を維持している間借りの単身者又は下宿屋などに下宿している単身者。

ウ) 会社・団体・商店・官公庁などの寄宿舍、独身寮などに居住している単身者。

施設等の世帯

(1)寮・寄宿舎の学生・生徒(学校の寮・寄宿舎で起居を共にし、通学している学生・生徒の集まり)

(2)病院・療養所の入院者(病院・療養所などに、すでに3か月以上入院している入院患者の集まり)

(3)社会施設の入所者(老人ホーム、児童保護施設などの入所者の集まり)

(4)自衛隊営舎内居住者(自衛隊の営舎内又は艦船内の居住者の集まり)

(5)矯正施設の入所者(刑務所及び拘留所の被収容者並びに少年院及び婦人補導院の在院者の集まり)

(6)その他(定まった住居を持たない単身者や陸上に生活の本拠(住所)を有しない船舶乗組員など)

なお、世帯の単位は、原則として上記(1)~(3)は棟ごと、(4)は中隊又は艦船ごと、(5)は建物ごと、(6)は一人一人である。

# 1 人口・自然

1-28 / 1-29

面積 ▶▶▶ 1位 横浜市  
面積割合 ▶▶▶ 1位 横浜市

**指標** 2022年10月1日現在の神奈川県のアリコ面積は2416.32km<sup>2</sup>です。

県内市町村で面積が最も大きいのは横浜市で438.01km<sup>2</sup>、最も小さいのは開成町で6.55km<sup>2</sup>です。横浜市が神奈川県のアリコ面積の18.13%を占めているのに対し、開成町は0.27%となっています。

**この統計は** [県勢要覧2023(令和5年度版)]  
[全国都道府県市区町村別面積調]

1-30 / 1-31

可住地面積 ▶▶▶ 1位 横浜市  
可住地面積割合 ▶▶▶ 1位 開成町

**指標** 2022年の神奈川県のアリコ可住地面積は1474.05km<sup>2</sup>です。

県内市町村で可住地面積が最も大きいのは横浜市で401.39km<sup>2</sup>、最も小さいのは真鶴町で3.52km<sup>2</sup>です。

神奈川県の可住地面積割合は61.00%です。

県内市町村で可住地面積割合が最も高いのは開成町で100%、最も低いのは清川村で10.74%です。

**この統計は** [県勢要覧2023(令和5年度版)]

**用語** 可住地面積

可住地面積とは、各市町村のアリコ面積から林野面積と主要湖沼面積を除いたものです。なお、神奈川県の主要湖沼は芦ノ湖(7.03km<sup>2</sup>)です。

可住地面積割合 = 可住地面積 / 県・各市町村のアリコ面積

1-32 / 1-33

林野面積 ▶▶▶ 1位 山北町  
林野面積割合 ▶▶▶ 1位 清川村

**指標** 2020年2月1日現在の神奈川県の林野面積は935.24km<sup>2</sup>です。

県内市町村で林野面積が最も大きいのは山北町で198.19km<sup>2</sup>です。一方、開成町は林野面積がありません。

神奈川県の林野面積割合は38.71%で、県内市町村で林野面積割合が最も高いのは清川村で89.26%です。

県内市町村のうち、10市町村で林野面積割合が50%を超える一方、11市町村で林野面積割合が10%未満となっています。

**この統計は** [県勢要覧2023(令和5年度版)]  
[2020年農林業センサス]

**用語** 林野面積

林野面積とは、現況森林面積と森林以外の草生地の面積を合わせたものをいいます。

林野面積割合 = 林野面積 / 県・各市町村のアリコ面積

## 神奈川県の気象 (2023年)

\*「夏日」は最高気温が25℃以上、冬日は最低気温が0℃未満であった日数を示しています。

	平均気温 (℃)	最高気温 (℃)	最低気温 (℃)	夏日 (日)	冬日 (日)	平均風速 (m/s)	日照時間 (h)	年間降水量 (mm)
海老名	17.1	37.4	-7.0	139	32	2.0	2288.4	1568.5
横浜	18.0	37.3	-2.1	136	2	3.6	2410.0	1377.0
辻堂	17.7	36.3	-3.7	128	10	3.1	2427.3	1282.5
小田原	17.1	38.0	-5.2	142	32	1.7	2308.4	1689.5
三浦	17.7	35.2	-2.4	119	4	3.6	2533.2	1303.0

**この統計は** [令和5年(2023年)神奈川県の気象概況]

### 統計情報 県勢要覧

県勢要覧2023(令和5年度版)  
[県統計センター]  
公表日:令和6年3月 公表周期:毎年  
神奈川県の土地、人口、経済、社会、文化などの各分野にわたる統計を収録したものです。

### 統計情報 全国都道府県市区町村面積調

全国都道府県市区町村面積調(令和4年10月1日)  
[国土交通省国土地理院]  
公表日:令和4年12月19日 公表周期:毎年  
測量法第12条の基本測量に関する長期計画に基づき国土地理院が毎年実施する国土面積の調査です。

### 統計情報 神奈川県の気象概況

令和5年(2023年)神奈川県の気象概況  
[横浜地方気象台]  
公表日:令和6年2月21日 公表周期:毎年  
横浜地方気象台及び神奈川県内の地域気象観測所(アメダス)のデータをまとめたものです。年の概況のほか、月の概況を毎月公表しています。

市町村・地域名	面積		面積割合		可住地面積		可住地面積割合		林野面積		林野面積割合	
	2022年	1-28	2022年	1-29	2022年	1-30	2022年	1-31	2020年	1-32	2020年	1-33
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
	km <sup>2</sup>		%		km <sup>2</sup>		%		km <sup>2</sup>		%	
神奈川県	2,416.32		100.00		1,474.05		61.00		935.24		38.71	
横浜市	438.01	1	18.13	1	401.39	1	91.64	11	36.62	8	8.36	23
川崎市	142.96	4	5.92	4	135.23	3	94.59	5	7.73	17	5.41	29
相模原市	328.91	2	13.61	2	140.97	2	42.86	27	187.94	2	57.14	7
横須賀市	100.81	7	4.17	7	71.91	4	71.33	16	28.90	10	28.67	18
平塚市	67.82	13	2.81	13	62.89	8	92.73	8	4.93	23	7.27	26
鎌倉市	39.66	16	1.64	16	26.87	12	67.75	18	12.79	15	32.25	16
藤沢市	69.56	12	2.88	12	63.95	7	91.94	10	5.61	21	8.06	24
小田原市	113.60	5	4.70	5	71.14	5	62.62	21	42.46	7	37.38	13
茅ヶ崎市	35.70	18	1.48	18	32.87	11	92.07	9	2.83	26	7.93	25
逗子市	17.28	26	0.72	26	10.97	25	63.48	20	6.31	19	36.52	14
三浦市	32.05	20	1.33	20	26.17	14	81.65	12	5.88	20	18.35	22
秦野市	103.76	6	4.29	6	49.74	9	47.94	26	54.02	5	52.06	8
厚木市	93.84	8	3.88	8	67.39	6	71.81	15	26.45	12	28.19	19
大和市	27.09	21	1.12	21	25.37	16	93.65	6	1.72	28	6.35	28
伊勢原市	55.56	14	2.30	14	34.45	10	62.01	22	21.11	13	37.99	12
海老名市	26.59	22	1.10	22	25.85	15	97.22	3	0.74	31	2.78	31
座間市	17.57	25	0.73	25	16.67	20	94.88	4	0.90	30	5.12	30
南足柄市	77.12	10	3.19	10	24.98	17	32.39	28	52.14	6	67.61	6
綾瀬市	22.14	23	0.92	23	20.58	18	92.95	7	1.56	29	7.05	27
葉山町	17.04	28	0.71	28	8.23	29	48.30	25	8.81	16	51.70	9
寒川町	13.34	30	0.55	30	13.10	23	98.20	2	0.24	32	1.80	32
大磯町	17.18	27	0.71	27	11.92	24	69.38	17	5.26	22	30.62	17
二宮町	9.08	31	0.38	31	7.34	31	80.84	13	1.74	27	19.16	21
中井町	19.99	24	0.83	24	13.47	22	67.38	19	6.52	18	32.62	15
大井町	14.38	29	0.60	29	10.89	26	75.73	14	3.49	25	24.27	20
松田町	37.75	17	1.56	17	9.15	28	24.24	30	28.60	11	75.76	3
山北町	224.61	3	9.30	3	26.42	13	11.76	32	198.19	1	88.24	2
開成町	6.55	33	0.27	33	6.55	32	100.00	1	-	-	-	-
箱根町	92.86	9	3.84	9	16.63	21	17.91	31	69.20	3	74.52	5
真鶴町	7.05	32	0.29	32	3.52	33	49.93	24	3.53	24	50.07	10
湯河原町	40.97	15	1.70	15	10.40	27	25.38	29	30.57	9	74.62	4
愛川町	34.28	19	1.42	19	19.42	19	56.65	23	14.86	14	43.35	11
清川村	71.24	11	2.95	11	7.65	30	10.74	33	63.59	4	89.26	1

横浜地域	438.01	3	18.13	3	401.39	1	91.64	2	36.62	5	8.36	5
川崎地域	142.96	6	5.92	6	135.23	6	94.59	1	7.73	6	5.41	6
横須賀三浦地域	206.84	5	8.56	5	144.15	5	69.69	4	62.69	4	30.31	3
県央地域	621.66	2	25.73	2	323.90	2	52.10	5	297.76	2	47.90	2
湘南地域	372.00	4	15.40	4	276.26	3	74.26	3	95.74	3	25.74	4
県西地域	634.88	1	26.27	1	193.15	4	30.42	6	434.70	1	68.47	1

1-28~1-33 県勢要覧2023(令和5年度版)

統計情報 農林業センサス

2020年農林業センサス[農林水産省]  
公表日:令和3年6月30日~順次公開 公表周期:5年ごと  
我が国の農林業の生産構造や就業構造、農山村地域における土地資源など農林業・農山村の基本構造の実態とその変化を明らかにし、農林業施策の企画・立案・推進のための基礎資料となる統計を作成し、提供することを目的に、5年ごとに行う調査です。

注釈

- 1-28、1-29  
1)2022年10月1日現在の値。  
2)面積は全国都道府県市区町村別面積調による。なお、平塚市、茅ヶ崎市、大磯町の数値は境界未定のため参考値である。
- 1-32、1-33  
1)林野面積は、農林業センサス(農山村地域調査)(令和2年2月1日現在)による。



**Q.1** 横浜市の人口は、次のどの都道府県と同じくらい？  
(2024年4月1日現在)

- A. ① 宮城県  
② 静岡県  
③ 熊本県

**Q.2** 県内市町村で人口増減率が最も高いのはどこ？(2023年)

- A. ① 川崎市  
② 藤沢市  
③ 大井町

**Q.3** 県内市町村で合計特殊出生率が最も高いのはどこ？  
(2021年)

- A. ① 海老名市  
② 寒川町  
③ 開成町

**Q.4** 常住する市町村内で従業・通学する人の割合が最も高いのはどこ？  
(2020年10月1日現在)

- A. ① 箱根町  
② 横須賀市  
③ 横浜市

**Q.5** 他市町村からの通勤・通学者数(流入人口)が最も多いのはどこ？(2020年10月1日現在)

- A. ① 湯河原町  
② 横浜市  
③ 相模原市

**Q.6** 県内市町村で生産年齢人口割合が最も高いのはどこ？  
(2024年1月1日現在)

- A. ① 川崎市  
② 茅ヶ崎市  
③ 小田原市

**Q.7** 県内市町村で1世帯当たり人員が最も多いのはどこ？  
(2020年10月1日現在)

- A. ① 平塚市  
② 大磯町  
③ 中井町

**Q.8** 県内市町村で林野面積が最も大きいのはどこ？  
(2020年2月1日現在)

- A. ① 山北町  
② 相模原市  
③ 箱根町

答えは78ページ ▶